



前進座公演

芸術祭優秀賞受賞作品

# さんしろう太夫

— 説経節より —

能に非ず 歌舞伎にも非ず  
それは説経節

作・ふじたあさや  
演出・香川 良成  
音楽・平井 澄子  
美術・西山 三郎  
照明・寺田 義雄  
効果・田村 憲  
振付・嵐 本音 芳三郎  
演出補・川名 あき



尾北演劇鑑賞会第214回例会 2026年5月24日(日)午後2時30分開場 3時開演

会場：江南市民文化会館大ホール 入会金：2,000円 会費：月額2,900円（学生2,100円）

申込先：江南市高屋町西町98-105 尾北演劇鑑賞会 TEL：0587-55-9346 FAX：55-9356

この会は、非営利の会員制演劇鑑賞団体です。ただいま会員募集中！生の舞台の感動を私たちとご一緒にしませんか。

# 数々の賞に輝いた 伝説の説経師たちが今還ってくる!

芸術祭優秀賞  
(1975)

斎田喬戯曲賞  
(1975)

児童福祉文化賞  
(1975)

名古屋演劇ペンクラブ賞  
(2009)



母 玉木  
小林祥子



づし王  
山本春美



あんじゅ  
平澤 愛



寺田昌樹



中嶋宏太郎



北澤知奈美



上滝啓太郎



渡会元之



黒河内雅子



松浦海之介



玉浦有之祐



藤井偉策



石嶋隆生



伊吹奈津実



和田優樹



益城孝次郎



武井 茂



一方、国分寺の聖に助けられたづし王は無事落ちのび、奥州五十四郡と丹後五郡の国司となる。聖の話で姉の死を知ったづし王は、悲しみと憤りに身を震わせ、さっしやう太夫一門を国分寺の庭に呼び寄せ…

平将門の孫、奥州五十四郡の主、岩城判官正氏は、帝の勘気を被り大宰府に流人の身。あんじゅとづし王は、父を追って京へ向かう道中、人買いに騙され丹後の国のさんしょう太夫に売られ、同行の母とも生き別れてしまう。姉弟は、慣れぬ汐汲みと芝刈りに追い立てられ、むごい仕打ちに耐えかねたあんじゅは、づし王を都へと逃す。怒った太夫はあんじゅを火責め水責めにして殺してしまう。

へただいまこれより語り申す御物語り  
国を申さば丹後の国 金焼地藏の御本地を

## 原点から再創造

### ―溢れる民衆の願い―

「山椒太夫」は、文豪・森鷗外の小説で広く知られていますが、その原話は、中世紀に民衆のあいだに発生した語り物「説経節」さんせう太夫です。

もともと中世的な神仏の靈験譚や因縁譚として語られた説経節「さんせう太夫」は、色濃い宗教性や呪術性におおわれていますが、その底には、しいたげられた下層民衆の自己解放への願いと夢がせつせつと流れています。

「現代に生きる人びとの願いと中世の下層民衆の未来へ向けた生命のほとばしりをかさねあわせ、説経節・さんせう太夫が今に問いかける意味をさぐりたいのです。帰らぬ命はそのままだ現代の問題です。おとぎ話の世界にとどまらず、大人の世代に通じる芝居にしたい。」  
上演回数千回を超えて、そのテーマはさらに深く胸を打つことでしょう。



以前の舞台より

## 感想より

語りと唄と楽器が見事に調和して劇が進行していて、最初の説経師の入場の仕方など、初めから引き込まれ終始興味深く観ることができた。日本の伝統芸能の素晴らしさを味わうことができ本当に良かったと思う。もう一度、観たいと思う芝居だった。  
(六十代女性)

時代と苦しみをリアルに見る視点があつて、とても見ごたえがありました。表現方法も工夫とこまやかさがあがり、印象深く心に迫るものがありました。  
(七十代男性)